

# 2013年3月期 第2四半期決算の概要



## 興銀リース株式会社

( 証券コード:8425 )

2012年11月2日

本資料には将来の予測数値が含まれております。こうした記述は、現時点における事業環境において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想値と異なる可能性がありますのでご留意下さい。

# I. 決算ハイライト

## — 基礎収益力の向上により収益構造は大きく改善 —

### 【上期決算概要】

○2012/上期決算は大口の信用コスト負担により前年同期比減益となるも、買収効果も加わり、基礎収益力は着実に向上

— 基礎収益力を示す「償却前の各段階利益」は改善

○一段高となったトップラインに信用コスト戻入も加わり、第2四半期業績は順調に回復

— 2012/1Q 純利益: 9億円 → 2012/2Q 純利益: 34億円 (+25億円)

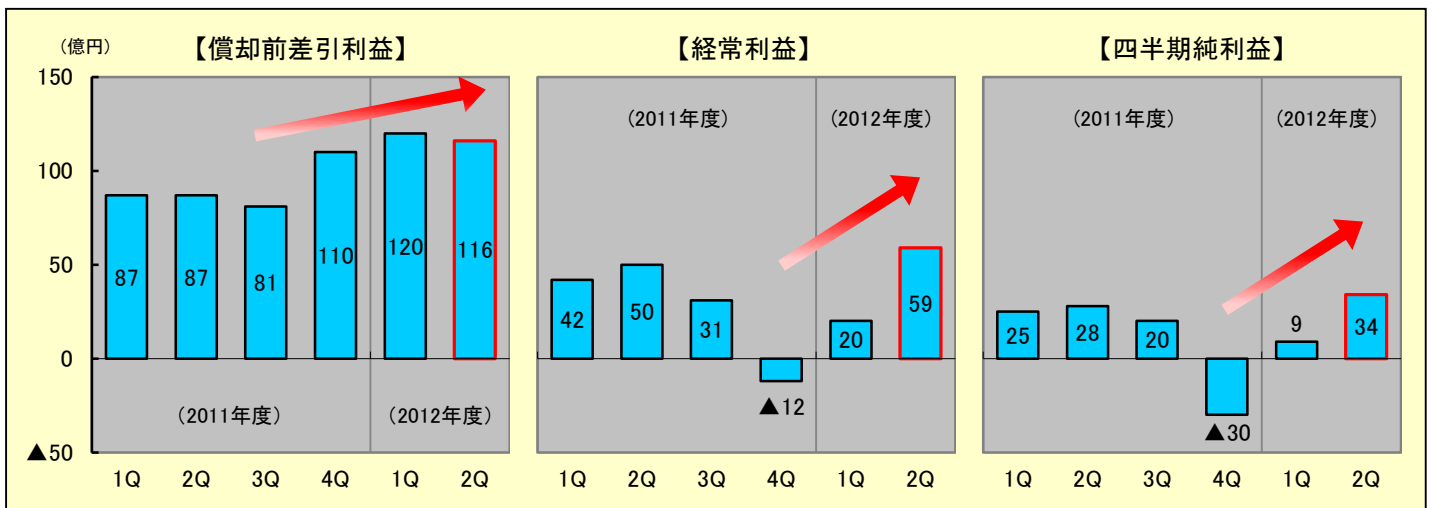
### 【上期営業状況】

○上期契約実行高は全分野において順調に増加し前年同期比 2.4 倍の 3,955億円

### 【上期決算状況】

(単位: 億円)

	2010年度	2011年度			2012年度			増減額 ②-①	増減率 ②÷①
	上期	1Q	2Q	上期①	1Q	2Q	上期②		
売上高	1,286	660	629	1,289	867	921	1,788	+499	+38.7%
売上総利益	159	75	76	150	102	100	202	+52	+34.2%
営業利益	83	41	45	86	18	57	75	▲11	▲13.4%
(信用コスト)	(13)	(▲3)	(▲2)	(▲4)	(35)	(▲2)	(34)	(+38)	(-%)
経常利益	86	42	50	92	20	59	80	▲12	▲14.0%
純利益	48	25	28	53	9	34	42	▲11	▲20.4%
償却前差引利益	189	87	87	174	120	116	236	+62	+35.5%
// 営業利益	96	39	43	82	53	56	108	+26	+32.2%
// 経常利益	99	40	48	88	55	58	113	+25	+28.1%
契約実行高	1,669	667	1,000	1,667	1,708	2,247	3,955	+2,288	+137.3%



## Ⅱ. 損益状況

### 【四半期別決算状況】

- 償却前差引利益は買収効果も加わり、2011/4Q以降、一段高の水準
- 総資金コストは買収2社分が加わり一旦増加するも、その後低減
- 信用コストは2012/1Qの大口負担はあるも、2012/2Qは一転して戻入超過

→ 以上の結果、2012/2Qの経常利益・純利益は回復

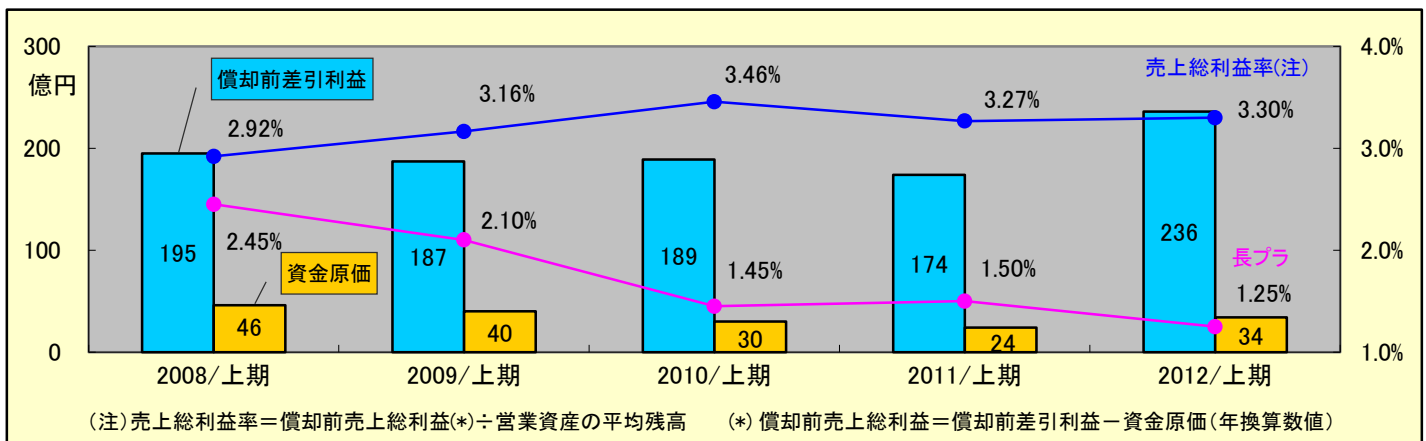
経常利益(1Q:20億円 → 2Q:59億円)、純利益(1Q:9億円 → 2Q:34億円)

(単位:億円)

	2011年度						2012年度			上期比 増減額 ②-①
	1Q	2Q	上期①	3Q	4Q	下期	1Q	2Q	上期②	
<b>経常収入 (a)</b>	89	93	182	83	110	193	123	119	242	+60
償却前差引利益	87	87	174	81	110	192	120	116	236	+62
受取利息配当	1	1	2	0	1	1	1	2	2	+0
投資収益	0	5	5	0	▲1	0	-	0	0	▲5
<b>経常費用 (b)</b>	47	43	89	52	122	174	103	60	163	+74
資金原価	12	11	24	11	18	29	17	16	34	+10
支払利息	1	1	2	1	1	2	1	1	2	+0
一般経費	36	33	68	32	45	77	49	44	93	+25
信用コスト	▲3	▲2	▲4	7	57	64	35	▲2	33	+37
<b>経常利益 (a-b)</b>	42	50	92	31	▲12	19	20	59	80	▲12
(償却前経常利益)	(40)	(48)	(88)	(38)	(45)	(83)	(55)	(58)	(113)	(+25)
<b>純利益</b>	25	28	53	20	▲30	▲10	9	34	42	▲11

### 【売上総利益率】

低金利が継続する中、買収効果に収益性重視の対応も加わり、売上総利益率は横這い



### Ⅲ. 財政状態

#### 【資産サイド】

○営業資産は前期末比+261億円増加(+2.2%)の1兆2,374億円

— 物融資産:8,834億円(+160億円)、金融資産:3,540億円(+101億円)

(単位:億円)

	2011/3 末	2012/3 末 ①	2012/9 末 ②	増減額 ②-①	増減率
物融資産	6,407	8,674	8,834	+160	+1.8%
(リース)	(5,462)	(7,551)	(7,729)	(+178)	(+2.4%)
(割賦)	(945)	(1,122)	(1,105)	(▲17)	(▲1.6%)
金融資産	2,879	3,439	3,540	+101	+2.9%
(貸付)	(2,419)	(2,950)	(3,059)	(+109)	(+3.7%)
(営業投資有価証券)	(460)	(489)	(481)	(▲8)	(▲1.6%)
営業資産	9,286	12,113	12,374	+261	+2.2%
総資産	10,280	13,330	13,566	+236	+1.8%

#### 【負債・資本サイド】

○有利子負債全体は前期末比+316億円増加の1兆1,651億円

— 引き続き低金利メリットを享受すべく、グループ会社においてもCP活用を積極化

○純資産は2Q 純利益の寄与により前期末+32億円の779億円

— 自己資本比率は前期末比+0.1%増の5.4%

(単位:億円)

	2011/3 末	2012/3 末 ①	2012/9 末 ②	増減額 ②-①	増減率
長短借入金	5,173	7,216	7,067	▲149	▲2.1%
市場調達	3,603	4,119	4,584	+465	+11.3%
(うちCP)	(3,273)	(3,731)	(4,168)	(+437)	(+11.7%)
有利子負債	8,776	11,335	11,651	+316	+2.8%
純資産	694	747	779	+32	+4.3%
(うち株主資本)	(687)	(712)	(746)	(+34)	(+4.7%)
自己資本比率	6.7%	5.3%	5.4%	+0.1%	—

## IV. 営業状況

### 【契約実行高】

○物融・金融分野共に大幅に増加し、全体では前年同期比2.4倍の3,955億円  
 — 大企業向け契約実行高は2,545億円(+1,606億円)と大幅な増加

(単位:億円)

	2010年度 上期	2011年度 上期①	2012年度 上期②	増減額 ②-①	増減率
<b>物融分野</b>	<b>1,023</b>	<b>1,022</b>	<b>1,898</b>	<b>+876</b>	<b>+85.6%</b>
リース	863	848	1,583	+735	+86.8%
割賦	160	174	314	+140	+80.1%
<b>金融分野</b>	<b>646</b>	<b>645</b>	<b>2,057</b>	<b>+1,412</b>	<b>+219.1%</b>
貸付	584	494	2,014	+1,520	+307.6%
営業投資有価証券	62	150	43	▲107	▲71.7%
<b>合計</b>	<b>1,669</b>	<b>1,667</b>	<b>3,955</b>	<b>+2,288</b>	<b>+137.3%</b>
(大企業向け)	(872)	(939)	(2,545)	(+1,606)	(+171.1%)

(参考)リース取扱高(2012年4~9月):前期比10.0%増(リース事業協会発表)

### 【物融分野の状況】

○物融契約実行高は各機種何れも増加し前年同期比+86%増の1,898億円

- ・産業工作機械:電気・自動車関連での設備投資を着実に捕捉
- ・輸送用機器:復興関連に加え「エコカー補助金」効果による需要を取り込み
- ・土木建設機械:レンタル向けを中心とした国内復興需要の取り込みが寄与
- ・情報通信機器:IBJL 東芝リースによる底上げに加え大企業の大口更新需要を捕捉
- ・医療機器:シーメンスとの営業連携に加え東芝医用ファイナンスが通期寄与

### <物融分野の機種別契約実行高>

(単位:億円)

	2010年度 上期	2011年度 上期①	2012年度 上期②	増減額 ②-①	増減率
産業・工作機械	234	150	591	+441	+293.9%
輸送用機器	142	158	191	+33	+21.1%
土木建設機械	117	153	179	+26	+16.9%
情報通信機器	216	256	411	+155	+60.2%
商業・サービス業用機器	136	123	132	+9	+7.9%
医療機器	51	56	151	+95	+171.7%
その他の機種	129	127	242	+115	+90.7%
<b>合計</b>	<b>1,023</b>	<b>1,022</b>	<b>1,898</b>	<b>+876</b>	<b>+85.6%</b>

## V. 通期業績予想

### 【環境認識】

○引き続き欧州債務問題、新興国の成長鈍化、円高の長期化等により、全体の景気回復には引き続き時間を要する、との慎重な認識

### 【営業方針】

○「法人向けの総合金融サービスグループ」として持続的成長を図る

- ・顧客基盤と提案力を活かした事業展開を推進
- ・物融、金融に係わる顧客ニーズを幅広く捉えた優良資産の積上げ
- ・医療分野に加え、環境・エネルギー等、成長分野への取り組み推進
- ・中国、タイ、インドネシア等、アジア営業の一層の積極化

### 【通期業績予想】

○第2四半期業績は回復するも、今後の不透明な経済環境・厳しい事業環境等を踏まえ、通期業績予想は据置き

### 【配当予想】

- 中間配当金(決議): 1株当たり@24円(前期:同額)
- 期末配当金(予想): 1株当たり@26円(前期:+2円増配予定)
- 年間配当金(予想): 1株当たり@50円(通期:+2円増配予定)→11期連続増配予定

### 【通期業績および配当予想】

(単位:億円)

	2011年度	2012年度			増減額 ②-①	増減率
	通期実績①	通期予想②	上期実績	進捗率		
売上高	2,701	3,500	1,788	51.1%	+799	+29.6%
営業利益	107	150	75	49.9%	+43	+40.3%
経常利益	111	155	80	51.3%	+44	+39.3%
純利益	43	90	42	47.1%	+47	+109.4%
1株当たり配当金	48円	50円	24円		+2円	

### 【1株当たり配当予想】

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度①	2012年度②	増減額②-①
中間配当	20円	20円	22円	24円	24円	—
期末配当	20円	(4)24円	24円	24円	26円	+2円
年間配当	40円	(4)44円	46円	48円	50円	+2円

(注)カッコは、内数で創立40周年記念配当

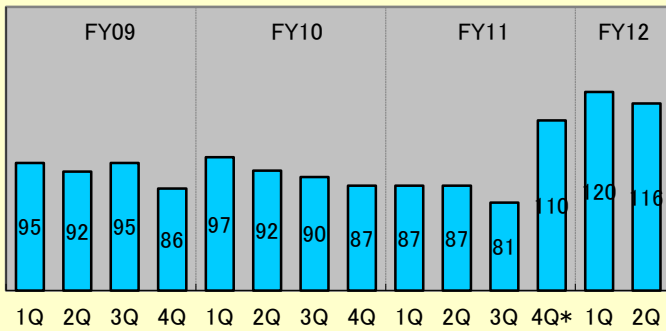
以上

## (参考) 四半期別損益の推移

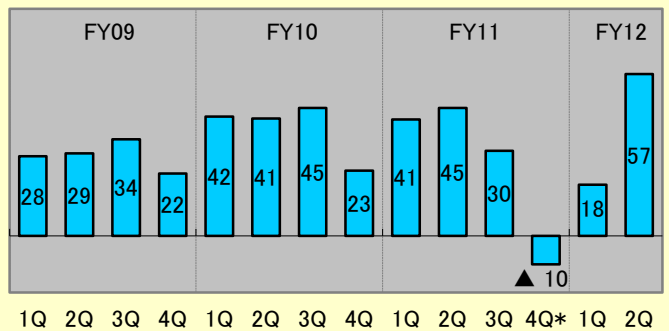
(単位:億円)

	FY09				FY10				FY11				FY12	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
償却前差引利益	95	92	95	86	97	92	90	87	87	87	81	110	120	116
資金原価	22	18	17	15	15	14	13	12	12	11	11	18	17	16
売上総利益	73	74	78	71	81	78	77	75	75	76	70	93	102	100
営業利益	28	29	34	22	42	41	45	23	41	45	30	▲10	18	57
(実質信用コスト)	(13)	(14)	(14)	(16)	(7)	(5)	(▲4)	(13)	(▲3)	(▲2)	(7)	(57)	(35)	(▲2)
経常利益	28	35	35	24	42	44	47	22	42	50	31	▲12	20	59
(償却前経常利益)	(41)	(49)	(48)	(39)	(49)	(50)	(43)	(36)	(40)	(48)	(38)	(45)	(55)	(58)
四半期純利益	16	22	18	14	22	26	30	12	25	28	20	▲30	9	34

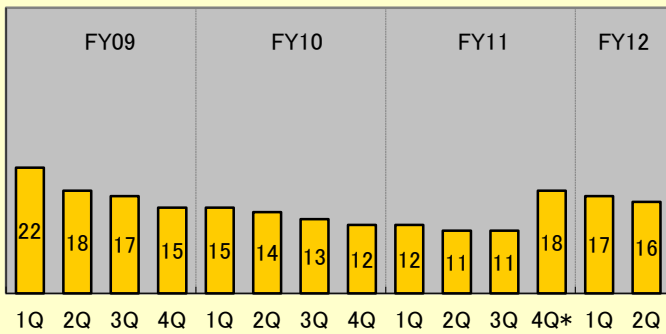
【償却前差引利益】 (億円)



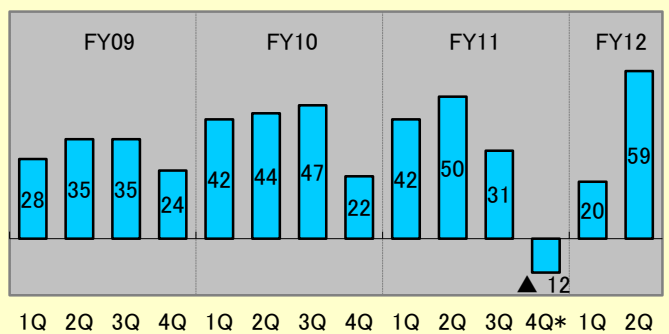
【営業利益】 (億円)



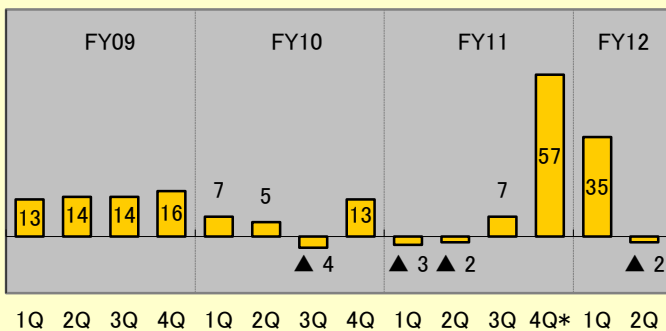
【資金原価】 (億円)



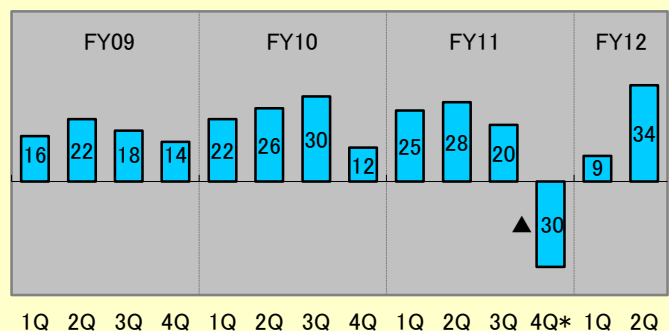
【経常利益】 (億円)



【実質信用コスト】 (億円)



【四半期純利益】 (億円)



(\*) 2012年2月1日付でIBJL東芝リース株、東芝医用ファイナンス株を連結グループ化